

平成29年度 自己評価・学校関係者評価書（結果公表シート）

平成30年5月31日

東海幼稚園

1 幼稚園の教育目標

- 1 心身共に健やかに明るく、進んで遊びやその仲間に加われる自主性に富んだ子供に教育する。
- 2 あやまちは素直に反省し、責任感を持ちうる子どもに教育する。
- 3 生き物とのふれあいを通し、命の大切さを実感し、生かし合い世の中のためにつくすということが出切る子供に教育する。
- 4 恵まれていることを喜び感謝し、自ら使命を果たす子供に教育する。

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

基本的な生活習慣を身につけ教師と園児が一体となって元気な幼稚園をつくる
 地震・津波等災害避難訓練の充実 地震防災計画の見直し
 認定こども園への移行準備

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	反省並びに改善策	評価	関係者評価
保育の計画性	B	各年代または子どもによって個人差があることにより難しい部分もあったがしっかり対応できる体制にしたい。	B	4月からの積み重ねがなされているかの途中見直しをして方向性を再確認しているのはいいと思います。
保育のあり方幼児への対応	B	3歳児、4歳児、5歳児それぞれにあった対応を研究していきたい。	A	進んで挨拶をすることの大事に取り組んでいることはいいと思います。
教師として資質能力、適正等	B	園内研修以外で他の幼稚園の教諭との意見も取り入れ、客観的に見つめることも重要である。	A	経験年数の多い教員が多いので様々なことにも落ち着いて対応できる体制になってほしいと思います。

保護者への対応	B	こどもに寄り添い、保護者の声に耳を傾け、常に信頼関係を築く姿勢を継続していきたい。	B	保護者への情報発信は速やかにかつ細かく行われていると思います。
地域の自然や地域との関わり	A	興津地区は地域の思いが強い地区なのでその思いに答えるべくたくさんの行事に参加していきたいと思います。	B	これからも地域の自然を活用し、地域の行事に参加し、興津地区のこどもを育てるという意識を継続していただきたい
研修と研究	B	義務的に参加する研修では意味がない。目指すこどものあり方を理解し、共通認識のもと研究していきたいと思います。	A	園全体でスキルアップしていこうという意識を強く持ってほしいと思います
外部アンケート	D	今年度は外部アンケートをとる機会が無かった為来年度は内容も考慮し実施していきたいと思います。	D	外部アンケートの必要性をもう一度考え直ししっかり生かしていく必要があると思います

A 十分に成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果がなかった

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

平成30年度より幼保連携型認定こども園に移行するにあたって教職員の確保が重点課題である。より良い教育・保育を目指し十分な体制を整える。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
認定こども園の体制づくり	静岡市子ども未来課や幼保支援課等と密に連絡をとり、わからないことはすぐ相談をする。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

興津地区は少子化現象が顕著にみられるところであり、幼稚園 保育園の数も多いので園児獲得が大変であると思います。必要とされる幼稚園になるため更なる努力をする意識づけをしていきましょう